

令和7年度岩手県災害派遣福祉士一員登録研修実施要項

1 目的

岩手県災害派遣福祉チーム員養成研修実施及びチーム員登録要領に基づき、岩手県災害派遣福祉チーム（以下「チーム」という。）員となる者に、チーム員登録のために必要な基礎的な知識及び技術等を習得させることを目的に実施します。

2 主催

岩手県災害福祉広域支援推進機構 本部：岩手県保健福祉部地域福祉課
事務局：社会福祉法人岩手県社会福祉協議会

3 期日

【講義】：令和7年9月26日（金）
 【図上訓練（グループ演習）】：令和7年9月27日（土）※受付：各日9：30～（予定）
 ※ 日程の詳細については（別紙）日程表を確認ください。

4 会場

MALIOS(マリオス) 18 階会議室 (1 日目: 181 会議室、2 日目: 187 会議室)
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通り 2 丁目 9-1 Tel 019-621-5000
※ 公共交通機関をご利用いただくか、車でお越しの際は、近隣有料駐車場をご利用ください。

5 受講対象及び定員

受講対象： 所属する福祉施設、事業所又は医療機関等の長の承認及び協力施設等で構成される事業者団体又は専門職能団体の推薦を受けた者

定 員：30 名

- ※ 本研修は、全科目を受講することで修了とします。
- ※ チーム員予定者がチーム員として登録するためには、本研修の受講が必須となります。
- ※ 受講希望者が定員を超える場合は、調整いたします。
- ※ 本年度受講できない予定者は、来年度以降（日程未定）の受講となります。

6 受講料

無料

- ※ 本研修の受講に係る旅費は、チーム員予定者が所属する法人（施設）の負担となります。
 なお、職能団体会員として申し出た方は所属団体に確認願います。

7 受講申込方法

別添の「受講申込書」及び「チーム員経歴書」に必要事項を記入の上、郵送でお申込みください。

【申込期限】令和7年9月5日（金）必着

【送付先】 〒020-0831 盛岡市三本柳8地割1番3ふれあいランド岩手内
岩手県社会福祉協議会 福祉経営支援部宛て

8 個人メールアドレスの申告及び顔写真データの提供

チームでは、事務局からチーム員への平常時及び緊急時における連絡のための、メール連絡網システムを導入しています。

つきましては、個人の携帯電話等、常時連絡が可能なアドレスから、件名に「チーム員」、本文に氏名、所属施設（または職能団体名等）を入力し、顔写真データ（肩より上・データ名に氏名を入力のこと）を添付の上、下記アドレスに送信してください。

【送信期限】 令和7年9月3日（水）

【送信先】 t-wayama@iwate-shakyo.or.jp（事務局担当者アドレス）

9 個人情報の取扱い

受講申込書等をもって取得した個人情報については、岩手県の個人情報保護条例及び岩手県社会福祉協議会が定めるプライバシーポリシーに基づき、チームに関する業務以外の目的では使用しません。

10 その他

- (1) 本研修の事前学習として、総務省消防庁ホームページ動画「防災・危機管理 e カレッジ>一般コース>基礎を学ぶ」を視聴の上、受講ください。

(<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/index2.html>)



- (2) 当日は、チーム員連絡網システムの送受信確認を行う予定です。申告したメールアドレスが設定された携帯電話機等をご持参ください。
- (3) 昼食のあっせん及び飲料の提供はありません。各自ご用意ください。

【問合せ先】

〒020-0831 盛岡市三本柳8地割1番3 ふれあいランド岩手内

TEL：019-601-7024 FAX:019-637-4255

岩手県社会福祉協議会 福祉経営支援部（担当：和山）

Email : t-wayama@iwate-shakyo.or.jp

岩手県災害派遣福祉チーム員への登録は、	
1 「地域における公益的な取組」に含まれます。	岩手県災害派遣福祉チームは、大規模災害時における要援護者の様々な福祉・介護等のニーズ把握を行う活動であり、社会福祉法人の責務として位置づけられた「地域における公益的な取組」に含まれるものです。
2 事業継続計画（BCP）の策定につながります。	「自然災害発生時の業務継続ガイドライン（令和2年12月厚生労働省発行）」において「被災時の職員の派遣」が記載されており、岩手県災害派遣福祉チームへの登録とその活動は、事業継続計画（BCP）の策定と、訓練実施へつながります。

(別紙)

※ 一部プログラムが変更となる場合があります。

令和7年度岩手県災害派遣福祉チーム登録研修 日程表

1. 開講(9月26日(金)) ※9:30 受付開始)

9:50～ 10:00	挨拶: 岩手県災害福祉広域支援推進機構本部 オリエンテーション: 岩手県災害福祉広域推進機構事務局
----------------	--

2. 1日目研修プログラム

日程		科目名	形式	内容	ねらい	時間	講師	教材
事前学習		災害の種類と災害によってもたらされる被害	自宅学習	①災害の種類と現象 ②過去の災害から見る被害 ③自分・家族の身の守り方	各種災害の現象とその被害状況を過去の事例から学び、災害及び被災地の状況をイメージする。また、自分自身が災害に遭遇した場合に身の安全を図る重要性を理解する。		総務省消防庁ホームページ「防災・危機管理 e カレッジ>一般コース>基礎を学ぶ」を事前に視聴のこと	
講義形式	10:00～11:00	チームに求められる役割	講義	①チーム創設までの経緯 ②チームの必要性と意義 ③災害時の福祉的課題 ④活動の目的と基本的な考え方	東日本大震災での福祉的課題を整理し、チームによる福祉的支援の必要性を理解する。	60分	社会福祉法人玉山秀峰会 常務理事兼施設長 西尾卓樹氏	活動マニュアル 講師資料
	11:00～11:30	チーム活動手順Ⅰ	講義	①推進機構本部・事務局、チームの組織 ②本部・事務局との連携	推進機構の組織・役割、指示命令システムを理解し、チーム員として本部・事務局との連携を考える。	30分	機構本部（岩手県保健福祉部地域福祉課）	活動マニュアル 設置要綱 講師資料等
	11:30～14:00 (12:00～13:00 昼食・休憩)	チーム活動手順Ⅱ	講義	①チーム員の活動 ・平常時の体制 ・待機から派遣指示まで ・出動 ・被災地到着時の動き ・活動初期対応 ・活動の実際 ・引き上げ ②資機材の確認と活用 ③感染症対応マニュアル	平常時の体制から、災害発生時の具体的活動、引き上げまでの具体的な手順を理解する。	90分	機構事務局（県社協）	活動マニュアル等
	14:00～15:00	被災地でのチーム活動Ⅰ	講義	避難所設置・運営 ・指揮統制・連携確認 ・避難所内連絡会議の意義・内容 ・活動事例 等	避難所の運営やチームが果たす役割、連絡会議の方法や必要性について理解する。	60分	居宅介護支援事業所はる 所長 千葉正道氏	活動マニュアル 講師資料
	15:00～15:15	休憩						
	15:15～16:15	被災地でのチーム活動Ⅱ	講義	①想定される活動内容 ・災害 ・期間 ・活動場所 ・支援対象者（災害時要援護者等） ・他団体との連携 ②被災者ニーズとその移り変わり	①想定されるチームの活動の概要を理解する。 ②東日本大震災支援で行われたニーズ調査結果を基に、環境や時間の経過によるニーズの変化を知る。 ③実際に活動した内容を理解する。	60分	【講師】 災害福祉支援コーディネーター	活動マニュアル 講師資料

3. 2日目研修プログラム(9月27日(土) ※9:40 受付開始)

日程		科目名	形式	内容		ねらい	時間	講師	教材
図上訓練	10:00～ 10:05	オリエンテーション:岩手県災害福祉広域推進機構事務局							
	10:05～ 12:00	活動シミュレーションⅠ	演習	図上訓練	具体的な災害想定をし、周囲がどのような状況になっているか、どのような行動をとったらよいか、グループワークを通してイメージトレーニングする。	120分 (休憩含)	【講師】 災害福祉支援コーディネーター	講師資料等	
	12:00～ 13:00	昼食・休憩							
	13:00～ 15:00	活動シミュレーションⅡ	演習	図上訓練	具体的な災害想定をし、周囲がどのような状況になっているか、どのような行動をとったらよいか、グループワークを通してイメージトレーニングする。	120分 (休息含)			【ファシリテーター】(調整中)

4. 閉講

15:00～ 15:15	修了証交付:岩手県災害福祉広域支援推進機構
-----------------	-----------------------